



Vinyl Motion

Portable Suitcase Turntable

クイックスタートガイド

クイックスタート・ガイド

同梱品

以下のものが揃っているかご確認ください：

- ・ Vinyl Motion 本体
- ・ USB ケーブル
- ・ スリッパマット
- ・ 45 回転用アダプタ
- ・ クイックスタートガイド/保証書

安全にお使いいただくために

- 雨が直接当たる場所や濡れている場所で使用しないでください。
- 水平な場所に設置してください。
- レコード盤再生中は、蓋は閉じないでください。
- 使用しない場合は、蓋を閉じて保管してください。

サポート

製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。

<http://ionaudio.jp/support>

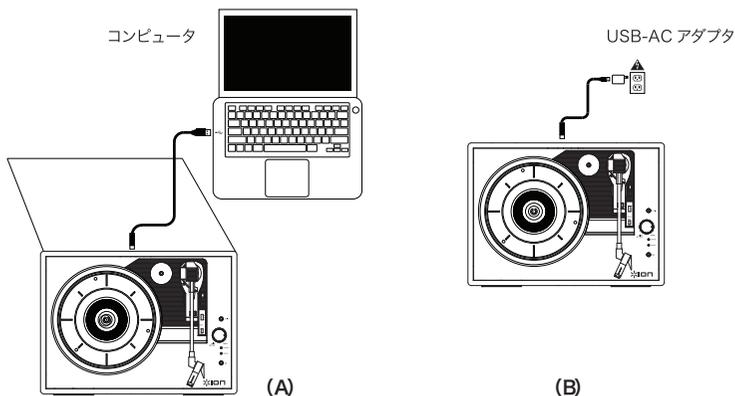
また、Vinyl Motion の最新情報につきましては、製品ページをご覧ください。

<http://ionaudio.jp/vinyl-motion>

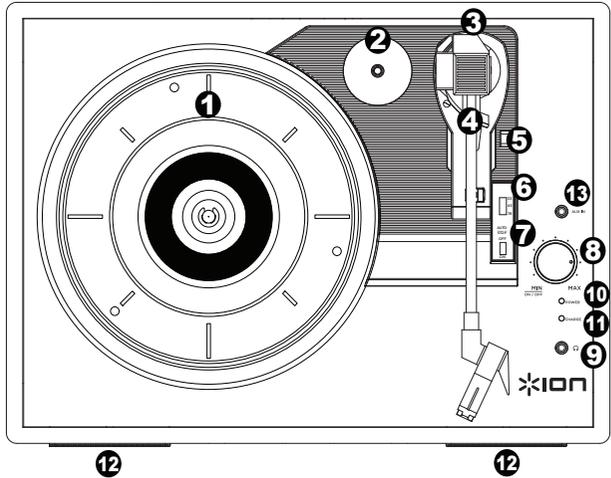
接続

同梱品リストにないものは別売です。

付属の USB ケーブルを使用する場合は **(A)** を、別売の USB-AC アダプタをご使用になる場合は **(B)** をご参照ください。

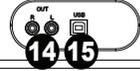


1. **プラッタ** - 再生したいレコードをこの上に置きます。
2. **EPアダプタ** - 45回転のEP盤を再生する場合に使用します。使用しない場合は、ここに置いてください。
3. **トーンアーム** - トーンアームは手で直接、もしくは昇降レバーを使って上げ下げを行います。オートストップ・スイッチがオンになっている場合、アームクリップの位置からトーンアームを動かすことで、ターンテーブルのモータが回転します。またトーンアームをアームクリップの位置に戻すことで、ターンテーブルのモータは停止します。



4. **アームクリップ** - 移動中や使用していない時にアームを固定するものです。
5. **昇降レバー** - このレバーを使ってアームの上げ下げをすることが出来ます。
6. **33/45/78 スイッチ** - このスイッチでレコードの回転数（33回転/45回転/78回転）の選択を行います。
7. **オートストップ・スイッチ** - このスイッチでオートストップ機能のオン/オフを行います。オートストップを有効にするには ON 側にスイッチを設定します。オートストップはレコードを最後まで再生された後、自動的にプラッタの回転が停止する機能です（オートストップが OFF 側になっている場合は、トーンアームの位置に関係なく常に回転している状態となります）。
注意：もし曲が終わる前にレコードの回転が止まってしまう場合は、オートストップ・スイッチをオフにしてください。特に、45RPMレコード盤の場合には、オフにしておくことをお勧めします。
8. **ボリューム / 電源ノブ** - クリック感があるまで時計回りに回すと Vinyl Motionの電源がオンになります。電源がオンの場合、内蔵スピーカーとヘッドフォンの出力レベルの調節を行います。RCA 出力端子の音量や USB への信号レベルへの影響はありません。電源をオフにするには、クリック感があるまで反時計回りに回します。
9. **ヘッドフォン出力** - ここにヘッドフォンを接続します。
10. **電源インジケータ** - 電源がオンの際に点灯します。バッテリー残量がなくなると消灯します。
11. **充電インジケータ** - バッテリーが充電中は点灯します。充電が完了すると消灯します。
12. **スピーカー** - レコードをかけた時の音が出力されます。
13. **外部入力端子** - カセットデッキなどの外部音声ソースを接続し、USB 経由でコンピュータに送出します。

14. **RCA 出力端子**– 再生中のレコードの音声信号がラインレベルで出力されます。この端子からフォノ入力端子へは接続しないようご注意ください。
15. **USB 端子**– 本機とコンピュータを USB ケーブル（本製品に同梱）で接続してください。詳しくは「Vinyl Motion をコンピュータと使う」の項目をご覧ください。



Vinyl Motion をコンピュータと使う

再生について

Vinyl Motion でレコードを聞く方法が三つあります。

1. Vinyl Motion の内蔵スピーカーで音楽を聞く。
2. お持ちのステレオスピーカーで音楽を聞きたい場合は、Vinyl Motion の RCA 出力端子からステレオシステムやアンプ内蔵スピーカーに接続を行います。フォノレベル入力への接続は行わないでください：Vinyl Motion の RCA 出力端子はラインレベルとなっており、もしフォノレベル入力をもった機器に接続を行いますと故障、破損につながるおそれがあります（CD、AUX、テープのような機器の入力が行える端子に接続してください）。
3. お持ちのコンピュータを通じて聞くことができます。またヘッドフォンをコンピュータに接続することでも聞くことができます（Vinyl Motion をコンピュータのオーディオ再生装置として使うことはできません）。

録音について

EZ Vinyl/Tape Converter を使うことで、あなたの音楽を簡単にデジタルファイルにすることができます。レコードを変換後は CD に焼いたり、ポータブル・メディアプレーヤへ入れたりすることができます。

最新の EZ Vinyl/Tape Converter のダウンロードは、Vinyl Motion の製品ページ「ionaudio.jp/vinyl-motion/」から行えます。

1. EZ Vinyl/Tape Converter をインストールしたコンピュータと Vinyl Motion の USB ポートを付属 USB ケーブルで接続を行います。
2. コンピュータで EZ Vinyl/Tape Converter を立ち上げます。EZ Vinyl/Tape Converter は、スタートメニュー > すべてのプログラム (Windows)、アプリケーション (Mac) にインストールされているはずですが。
3. 画面の指示に従って録音の準備を行い、Vinyl Motion のトーンアームをレコードに乗せて、音楽をかけます。
4. 録音が完了したら Vinyl Motion のトーンアームをレコードから上げてアームクリップへ戻します。

Vinyl Motion の操作がうまくいかない場合、下記のトラブルシューティングをご参照ください。

コンピュータに音楽を録音する際、音が何も聴こえない：

- Vinyl Motion の電源がオンになっており、針がレコードに乗っている事を確認してください。
- Vinyl Motion がコンピュータの録音デバイスとして選択されていることを確認してください。
- Vinyl Motion をコンピュータへ接続している USB ケーブルを接続しなおしてください。コンピュータのスピーカの電源が入っており、ボリュームがミュートになっていないことを確認してください。Vinyl Motion のトップパネルにあるボリュームノブでボリュームを上げ、Vinyl Motion の内蔵スピーカから音が聴こえるかどうかをお試しください。
- コンピュータにスピーカを接続して視聴する場合はそれらのスピーカがコンピュータの再生デバイスとして正しく選択されているかを確認してください（方法は次のページをご確認ください）。あるいは、Vinyl Motion の RCA 出力端子をステレオのシステムまたはパワードスピーカに接続してください。Vinyl Motion の RCA 出力端子は LINE 入力端子に接続してください。PHONO 入力端子に接続してはいけません。再生デバイスにダメージを与える恐れがあります。
(Note：RCA 出力端子はターンテーブルの出力信号をモニタしています。コンピュータからの出力信号ではありません)

再生しても音が何も聴こえない：

- レコードを再生している場合：
 - Vinyl Motion の電源がオンになっており、針がレコードに乗っている事を確認してください。
 - (外部スピーカを接続し出力する場合) Vinyl Motion の RCA 出力端子が正しくステレオのシステムまたはパワードスピーカに接続されていることを確認してください (Vinyl Motion の RCA 出力端子は LINE 入力端子に接続してください。PHONO 入力端子に接続してはいけません。再生デバイスにダメージを与える恐れがあります)。
 - (内蔵スピーカで出力する場合) ターンテーブルの上にあるボリュームノブが、内蔵スピーカで出力するのに適正なレベルに調整されていることを確認してください。
- コンピュータから再生している場合：
 - 再生中のソフトウェアのボリュームが上がっているかご確認ください。
 - コンピュータのボリュームが上がっているかご確認ください。
 - コンピュータのスピーカがデフォルトの再生スピーカに設定されているか確認してください (方法は次のページをご確認ください)。Vinyl Motion の内蔵スピーカはコンピュータのオーディオ再生のスピーカとしては使用できません。

ターンテーブルを使用中、スピーカまたはノートパソコンからハムノイズが聴こえる：

- ノートパソコンに録音中の場合：
 - ノートパソコンの電源が正しくアースされているか確認してください。
- スピーカで出力している場合：
 - ボリュームが最大になっている場合、ハムノイズが聴こえなくなるまで音量を下げてください。

ターンテーブルから何も音がしない、または音楽がはっきりと聴こえない：

- 針のカバーを外してください。

ターンテーブルが回らない：

- ・ 電源が入っているかご確認ください。
- ・ オートストップ・スイッチがオンになっており、トーンアームがレコードの上にあることを確認してください（オートストップをオフにしている場合は電源を入れると常にターンテーブルが回る状態になっていません）。

レコードが正しいスピードで再生されず、ピッチが高すぎる（または低すぎる）：

- ・ 回転数のスイッチ（33 / 45 / 78）が再生中のレコードと合ったものが正しく選択されているか確認してください。

レコード盤が Vinyl Motion の蓋に当たってしまう：

- ・ スリップマットを必ずセットして、蓋に当たらないようにレコード盤を置いてください。

コンピュータのサウンドカードを既定の再生デバイスとして設定する

- **Windows XP**：スタートメニュー > コントロールパネル（もしくはクラシックビューで 設定 > コントロールパネル）> サウンド及びオーディオデバイスの、オーディオタブをクリックし、音の再生でコンピュータのサウンドカードを既定のデバイスとして設定します。
- **Windows Vista**：スタートメニュー > コントロールパネル（もしくはクラシックビューで 設定 > コントロールパネル）> ハードウェアとサウンド > サウンドの、再生タブをクリックし、コンピュータのサウンドカードを既定のデバイスとして設定します。
- **Windows 7**：スタートメニュー > コントロールパネル > サウンドをクリック。再生タブをクリックし、コンピュータのサウンドカードを既定のデバイスとして設定します。
- **Windows 8**：画面の右下コーナーにあるスタートメニューにマウスのカーソルを合わせて、マウス右クリックを行い、表示されるメニュー内のコントロールパネルをクリックし、サウンド > 再生タブをクリックし、コンピュータのサウンドカードを既定のデバイスとして設定します。
- **Mac**：左上の“アップル”アイコンをクリックし、システム環境設定 > サウンドをクリック。出力タブをクリックします。コンピュータ内蔵スピーカを使いたい場合は内蔵スピーカを選択します。またコンピュータの 1/8 ヘッドホン出力端子にヘッドホンが接続されている場合はヘッドホンを選択します。

Vinyl Motion を既定の録音デバイスとして設定する

- **Windows XP**：スタートメニュー > コントロールパネル（もしくはクラシックビューで 設定 > コントロールパネル）> サウンド及びオーディオデバイスの、オーディオタブをクリックし、録音で Vinyl Motion を既定のデバイスとして設定します。
- **Windows Vista**：スタートメニュー > コントロールパネル（もしくはクラシックビューで 設定 > コントロールパネル）> ハードウェアとサウンド > サウンドの、録音タブをクリックし、Vinyl Motion を既定のデバイスとして設定します。
- **Windows 7**：スタートメニュー > コントロールパネル > サウンドをクリック。録音タブをクリックし、Vinyl Motion を既定のデバイスとして設定します。
- **Windows 8**：画面の右下コーナーにあるスタートメニューにマウスのカーソルを合わせて、マウス右クリックを行い、表示されるメニュー内のコントロールパネルをクリックし、サウンド > 録音タブをクリックし、Vinyl Motion を既定のデバイスとして設定します。
- **Mac**：左上の“アップル”アイコンをクリックし、システム環境設定 > サウンドをクリック。入力タブをクリックし Vinyl Motion を選択します。



仕様

サイズ：	約 343 x 114 x 254mm (W x D x H)
重量：	約 2.7kg
電源：	USB バスパワー、充電式リチウムイオンバッテリー
バッテリータイプ：	リチウムイオン
バッテリー駆動時間：	最長約 4 時間
カートリッジタイプ：	セラミック
USB 電源：	5V、500mA 以上の USB-AC アダプタ

商標およびライセンス

ION Audio は、ION Audio, LLC の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Windows は、米国およびその他の国々において Microsoft Corporation の登録商標です。

Mac は、Apple, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Bluetooth とロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有しており、ION Audio はライセンスに基づいて使用しています。

その他すべての会社名または製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

1. すべての警告や指示に従ってください。本書は大切に保管してください。
2. 警告（該当する場合）：電気や安全などに関して、製品の外装底部の外殻または背面パネルに印刷された情報を必ず参照してください。
3. お手入れの際は乾いた布を使用してください。
4. 水と湿気（該当する場合）：本機を水の近くで使用しないでください。本機を水滴や水しぶきにさらしたり、花瓶など液体が入ったものや本機の上に置いたりしないでください。
5. （該当する場合）換気口を塞がないでください。製造元の取扱説明書に従って設置してください。良好な通気を保ってください。本機を本棚などの狭い場所、もしくは箱状になったスペースに設置しないでください。
6. 暖房機器などの熱を発生する装置（アンプを含む）の近くに設置しないでください。点火されたキャンドルなど、火気のあるものを本機の上に置かないでください。
7. （該当する場合）本機は、取扱説明書に記載されているタイプ、または本機に記載されているタイプの電源にのみ接続してください。
8. 電源コードが損傷しないように注意してください。移動中や使用しないときには、ケーブルタイなどで電源ケーブルをしっかりと固定してください。再度使用する前に、電源コードが損傷していないかを確認してください。電源コードがどのように損傷した場合でも、本機とコードを専門の修理技術者へ持ち込み、製造元が指定する修理または交換を受けてください。
9. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
10. 製造元が指定するアタッチメントやアクセサリのみを使用してください。
11. （該当する場合）製造元が指定する、もしくは本機とセットになっているカート、スタンド、トリポッド、ブラケットまたはテーブルを使用してください。
12. 内部/外部電圧セレクター（該当する場合）：内部または外部の電圧セレクタースイッチがある場合、専門の修理技術者によって適切なプラグにリセットおよび再設定する必要があります。自分で変更しようとししないでください。
13. 注意（該当する場合）：バッテリー交換の過失による、爆発の危険があります。同型または同等品とのみ交換してください。
14. （該当する場合）極性付きのプラグやアース端子付きの電源プラグは危険防止のために正しく使用してください。これらは安全のためのものです。
15. 保護アース端子（該当する場合）：保護アース接続のある主電源コンセントに接続してください。
16. クラスII機器のみ：このシンボルは、機器がClass IIまたは二重絶縁電気機器であることを示しています。安全性のため電気的なアースへの接続を確認してください。
17. 警告（該当する場合）：主電源プラグを主電源に接続する前に、アース接続を行ってください。アース接続を外すときは、必ず主電源プラグを主電源から抜いた後に外してください。
18. （該当する場合）主電源プラグ又は器具用プラグを遮断器として使用する場合、遮断器は容易に操作可能なまままでなければなりません。
19. 該当する場合：聴覚障害を防ぐため、大音量で長時間使用しないこと。
20. 本装置は業務用です。想定される使用環境：おだやかな気候。



安全のための注意

注意：感電の危険を避けるため、カバーを取り外さないでください。内部にはユーザーによって修理可能な箇所はありません。修理は専門の技術者に依頼してください。

危険電圧：正三角形の中にある矢印の付いた罫線のシンボルは「危険電圧」が製品の筐体内に存在することを警告しています。この部分は絶縁されておらず、感電の危険があります。

取り扱い：正三角形の中にある感嘆符は操作やメンテナンス、または修理に関して特別な指示があることを警告しています。本機に添付されている取扱説明書を参照してください。

注意（米国およびカナダモデルのみ）：感電防止のため、ブレードが露出している場合、極性プラグを延長コードやレセプタクル、その他のコンセントに使用しないでください。使用する場合はブレードを完全に差し込んでください。

レーザー製品に関する注意事項：危険：本体が開かれた状態でインターロックが故障または解除された場合、目に見えないレーザーが照射されます。ビームに直接当たらないようにしてください。ここで指定されていないコントロールや調整を行った場合、有害な放射線被曝の可能性があります。

FCC規制に関する注意：規制に関する記述によって認められていない改造や修正を行った場合は、本機の操作権限がユーザーから剥夺される場合があります。本機は、FCC規則（パート15）に従い、クラスBデバイスの制限に準拠することが確認されています。この制限は住宅における設置において、の制限に準拠することが確認されています。この制限は住宅における設置において、有害な干渉からの合理的な保護を目的としています。

本機は無線周波数エネルギーを発生させ、放射する可能性があります。また、取扱説明書に詳しく設置および使用された場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。一方、特定の設置に関して干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機がラジオまたはテレビに有害な影響を引き起こすかどうかは、本機の電源を入れたり切ったりすることで判断可能です。また、本機が干渉を発生させていることが確認された場合、以下の1つまたは複数の措置を行ってください。(a) 受信アンテナの向きを変える、または場所を変更する。(b) 本機を移動する。(c) 本機と受信機の間隔を広げる。(d) 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本機を接続する。(e) すべてのケーブルが適切にシールドされていることを確認する（必要に応じてチャークコイルやフェライトを使用する）。f) 販売店またはラジオ/テレビ技術者に相談する。（該当する場合）本機の操作や設置の際は、使用者はラジオエアーから20 cm以上離れてください。

RF警告文（該当する場合）：本機は一般的なRF暴露制限を満たしています。本機を高RF放射環境での使用は避けてください。

他ユーザーへの電波干渉の可能性を提言するため、等価等方放射電力（EIRP）が正常な通信に必要な値を超えないよう、アンテナの種類とゲインを選択してください。この無線送信機（認証番号、またはカテゴリの場合はモデル番号でデバイスを識別）、最大許容ゲインにおいて以下のリストが示すアンテナタイプで動作することがISEDによって承認されています。また、各アンテナタイプに要求されるアンテナゲインが指示されています。このリストに記載されていない、表示されたそのタイプに対する最大ゲインを超えるゲインのアンテナや本機の併用は固く禁じられています。

本機はカナダ通信相の電波外規制によって定められた、デジタル機器からの電波ノイズ放射に関してクラスB制限を超えません。

本機は無線電波、無干渉状態で動作します。同じテレビ帯域で運用されている他の無線サービスからの保護を得た場合、無線免許を取得してください。詳細については、カナダ西部イノベーション科学経済開発省にお問い合わせください。本機は無保護、無干渉状態で動作します。同じテレビ帯域で運用されている他の無線サービスからの保護を得た場合、無線免許を取得してください。詳細については、カナダ西部イノベーション科学経済開発省にお問い合わせください。



放射能暴露に関して: 本機は非管理環境に対してISEDが定めた放射線暴露制限に準拠しています。(該当する場合)本機の使用や設置の際は、使用者はラジエーターから20 cm以上離れてください。**5.15~5.25 GHzの周波数帯をサポートするワイヤレス製品の場合**(該当する場合): 5.15~5.35 GHz帯の使用は屋内のみに制限されています。この制限は以下の国で適用されます: AT, BE, BG, CZ, DK, EE, FR, DE, ES, IE, IT, EL, ES, CY, LV, LI, LT, LU, HU, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SI, SK, TR, FI, SE, CH, UK, HR

英国において240ボルトで使用する場合は、NEMA®スタイルの240ボルトプラグを使用してください。その他の国では、現地のコンセントに適したプラグを使用してください。



ESD/EFT警告: 本機は信号処理および制御機能用のマイクロコンピュータを内蔵しています。ごくまれに、強い干渉、外部からのノイズ、または静電気によってロックされる場合があります。万が一このような事態が発生した場合、最低5秒間待つてから再度電源を入れてください。このESD警告マークが表示されているコネクタのピンには触れないでください。



製品の破棄方法: このマークは本機がEU全域で他の一般廃棄物とともにされるべきではないことを示しています。破棄物処理による環境や人体への危害の可能性を防ぐため、責任あるリサイクルや材料資源の持続可能な再利用を推進してください。使用後の機材を返却する場合は、返却回収システムの利用、または製品を購入した小売店にご連絡ください。製品の環境に配慮した安全なリサイクルをおこなうため、小売店が製品を引き取ります。

 警告	
<ul style="list-style-type: none">• 誤飲の危険性: 本製品にはボタン電池またはコイン電池が含まれています。• 飲み込んだ場合、死亡または重傷を負う可能性があります。• ボタン電池またはコイン電池を飲み込むと、わずか2時間で内部化学やけどを引き起こす可能性があります。• 新しい電池や使用済みの電池は、子供の手の届かないところに保管してください。• 電池を飲み込んだり、体の一部に挿入した疑いがある場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。治療法については、最寄りの保健所にお問い合わせください。	

製品またはリモコンにボタン電池またはコイン電池が入っている場合(CR1220、CR2025、CR2032、DC3.0V) :
製品内部にあるボタン電池またはコイン電池は交換できません。

強制放電、再充電(非充電式電池は再充電不可)、分解、メーカー指定の定格温度以上での加熱、焼却はしないでください。ガス抜き、液漏れ、爆発による化学やけどにより負傷する恐れがあります。

電池の廃棄(該当する場合): 使用済みの電池は、取り外して直ちにリサイクルするか、地域の規則に従って廃棄してください。使用済みの電池でも、重傷や死亡の原因となることがあります。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。過熱した電池は破裂や爆発の恐れがあります。電池の廃棄方法や廃棄場所が不明な場合は、お住まいの地域の条例を参照して、適切な場所や方法などを確認してください。

- **アルカリ乾電池とリチウムボタン電池:** アルカリ電池とリチウムボタン電池は、通常の家庭ごみと一緒に安全に廃棄できます。通常の使用や廃棄において、健康や環境に対するリスクはありません。(アルカリ電池は、主に鉄、亜鉛、マンガンなどの一般的な金属で構成されています)。アルカリ電池やリチウムボタン電池を大量にまとめて廃棄しないでください。使用済み電池は完全に「死んで」いないことが多いため、まとめて捨てると「生きている」電池同士が接触して安全上の危険が生じます。これを避けるには、各電池をテープやその他の非導電性材料で絶縁し放電しないようにしてください。アルカリ電池やリチウムボタン電池は、費用対効果が高く、環境的に安全なリサイクル方法がまだ確立されていません。地域によっては、これらの電池のリサイクルや回収を行っているところもあります。詳細については、お住まいの地域の条例を参照するか、自治体にお問い合わせください。
- **鉛蓄電池:** 鉛バッテリーは、電子廃棄物センターまたはリサイクルセンターに持ち込むか、お住まいの地域の条例に従って廃棄してください。(充電式鉛蓄電池は自動車に使用されているものと同型のため、同様に廃棄してください)。



適合宣言に関する一般的な注意事項: 当社は、本装置が欧州指令 2014/53/EU または 2014/30/EU (LVD: 2014/35/EU; GPSD: 2001/95/EC)の必須要件に適合していることをここに宣言します。



適合宣言に関する一般的な注意事項: 当社はここに、本装置が電磁適合性規則 2016、電気機器(安全)規則 2016、または無線機器規則 2017として英国法に従っていることを宣言します。製品の仕様によって適用される規制が異なることにご注意ください。英国適合宣言書の全文は、ご要望に応じてご提供いたします。

製品保証規定

1. 製品の保証期間は**ご購入日より一年間**です。
2. ご購入時の**納品書・領収書**が**ご購入証明**になります。紛失しないように大切に保管してください。
3. 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。
4. 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品の交換。
 - (ホ) 購入証明のご提示がない場合。
 - (ヘ) 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。
7. オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。
8. 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 1-5-10 小池ビル 2F

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] [www.inmusicbrands.jp/support/](https://inmusicbrands.jp/support/)

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポートへご相談ください。

保証書	
製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布1-5-10 小池ビル2F
お問い合わせ：ionaudio.jp/support/

- 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。